

# 毎日新聞

みんなの広場

## 助け合うためのあいさつ

中学生 遠藤 涼14 (東京都文京区)

国語の授業で「あいさつは心のパスポート」という文章を読んだ。あいさつをすることで互いに敵意のないことを確認し合うのだという。たしかにこれは一つの効果だが、それ以外にもさまざまなメリットがあいさつにはある。

私が一番大切にしているあいさつについての考えは「あいさつによって、間接的にではあるが、命を守ることにつながる」というものだ。

私の祖父は、知らない人にもためらわずにあいさつをする。その理由を聞くと、「顔を知っていれば、お互いに身の危険が迫ったときに、助け合うことができるからだ」と言った。それを聞いて、あいさつについて、自分の今までの考えが一変した。心にしみるほど共感した。

だから、私は「あいさつが命を守ることにつながる」という考えを大切にしている。たくさんの人と顔見知りになり、助け合えるようになるため、どんな人に対してもあいさつができるよう心がけていきたい。